

令和 3 年 6 月 9 日現在

機関番号：23102

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2016～2019

課題番号：16H03620

研究課題名（和文）国際貿易における企業の異質性と労働に関する理論的・実証的研究

研究課題名（英文）Firm Heterogeneity and Labor in the Global Economy: Theory and Evidence

研究代表者

若杉 隆平（Wakasugi, Ryuhei）

新潟県立大学・その他・その他

研究者番号：80191716

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 11,500,000円

研究成果の概要（和文）：国際貿易が雇用変動に与える影響、個人の特性や地域特性が貿易政策の決定に与える影響、産業・労働集積が企業の雇用・賃金に与える影響等を日本と中国のミクロデータにより計量的に実証分析した。その結果、(1)貿易の下で変動する需要に対する雇用調整は企業の雇用構造によって異なること、(2)貿易や外国人労働者の自由化は個人の属性・行動特性、地域特性により影響されること、(3)産業集積、労働集積の効果は企業間ネットワークの有無や所有形態等の企業特性によって異なること、(4)労働条項や労働組合の交渉力の有無が自由貿易の利益に影響をもたらすこと等を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

貿易の拡大が雇用に与える影響は企業の雇用構造によって異なること、雇用や賃金の変化は、生産性・企業間ネットワーク・所有形態等の差異のほか、産業集積、地域特性によって異なること、貿易政策は個人の教育や行動特性、地域特性によって影響されること、自由貿易協定の利益は労働条項や労働組合に異なること等、貿易利益の実現や政策決定に関する基礎的な事実を実証分析によって明らかにしたことに学術的意義を求めることが出来る。これらの結果は、グローバル化する経済における労働市場の制度設計、貿易政策の決定、地域産業集積の形成、国際貿易ルールの運用を行う上で考慮すべき条件が何かを社会に示す意義を有している。

研究成果の概要（英文）：This research empirically examines the effect of international trade on the employment, the effects of individual characteristics and behavioral bias and the regional characteristics on the decision of trade policy, and the effect of industry and workforce agglomeration on employment and wage, using Japanese and Chinese micro-data. It shows the statistical evidence including (1) the adjustment of workforce responding to the demand fluctuation caused by the international trade varies among firms holding regular and temporary workers, (2) the policy decision to liberalize trade and immigration is affected by individual characteristics and behavioral bias, and regional characteristics, (3) the effects of industrial and workforce agglomeration on wage and employment depend on the ownership structure and the network between firms, and (4) the degree to protect workers and the negotiation power of trade union affect the benefit of trade liberalization between FTA members.

研究分野：国際経済学

キーワード：貿易政策 貿易制限 雇用 賃金 外国人労働 個人特性 地域特性 中国企業

## 1. 研究開始当初の背景

国際貿易が雇用、賃金、企業の人的資源の配分などに与える影響については、国、地域、産業、企業など様々なレベルで研究が進められてきたが、近年、企業の異質性に注目して国際貿易に関する研究が深まるにつれて、貿易と労働の関係についても、企業の特徴を考慮して分析することが必要とされている。加えて、地域特性の差異や産業集積の存在が雇用や賃金にどのように関係するかも検討課題となっている。また、貿易の自由化や外国人労働力の自由化に関しては、政策決定に働きかける個人の選好によって政策が左右されることから、貿易自由化や労働の国際移動に関する政策決定に対して個人の属性や行動特性、地域特性がどのように影響を与えるかを明らかにすることが課題とされている。さらに、成長の著しい中国において、貿易・投資の拡大に伴って生ずる企業間の生産性格差や企業内の労働移動・賃金格差等の要因を分析するには、国有企業、外資系企業等の企業の所有形態、企業規模、市場における産業・労働集積の存在を考慮することが必要とされている。

こうした国際貿易が企業の雇用構造、賃金、成長に与える影響、個人の属性・行動特性や地域特性が貿易や労働移動に関する政策の決定に与える影響、企業の所有形態や産業・労働集積が企業の雇用・成長に与える影響などに関しては、理論面での研究が先行している一方、実証分析によって明らかにされなければならない課題が残っている。

## 2. 研究の目的

本研究では、これまでの研究(「国際貿易におけるアウトソーシングと企業特性に関する理論的・実証的研究」(基盤研究(B)(平成20~23年度))、「企業の国際化と市場特性に関する理論的・実証的研究」(基盤研究(A)(平成24年~27年度))を踏まえ、主として以下の内容を説明することを目的として、理論的実証的分析を行う。

- (1) グローバルな貿易・投資のショックがもたらす企業間・企業内における雇用変化のメカニズム、特に日本企業の正規・非正規労働の雇用や賃金の変化のメカニズム
- (2) 個人の属性や行動上の特性がグローバルな労働移動の自由化への政策選択に与える影響
- (3) 地域特性や個人属性の差異が貿易自由化への政策選択に与える影響
- (4) 市場のルール、産業集積・労働集積の違いによって、企業の賃金水準、生産性、労働資源配分に見られる影響、特に、中国企業の異質性・所有形態、市場における労働集積や企業間ネットワークの異質性がもたらす企業の雇用、貿易、成長に与える影響
- (5) 自由貿易協定等の貿易自由化への制度変化が企業の輸出、雇用に与える影響

また本研究の過程において、自由貿易に関する国際ルール、貿易と労働、中国企業と貿易の研究に取り組んでいる海外研究者との研究交流を活発化するために、国際研究交流の機会を設ける。

## 3. 研究の方法

国際貿易の拡大が雇用、賃金、企業成長に与える影響に関する研究は、企業を均質な存在と想定し、産業レベルでの差異、地域間の差異等に注目することによって、そのメカニズムを明らかにするものが見られているが、近年、Helpman、Itskhoki、Grossman等による研究に見られるように企業の異質性を踏まえた研究等が行われており、本研究ではこうした最新の研究を踏まえて、企業の異質性、個人属性、地域特性を考慮して、国際貿易が労働や企業に与える影響、個人属性や地域特性が貿易政策に与える影響について計量的に実証分析する。

本研究の特徴は、計量分析手法に則ったマイクロデータの実証分析によりエビデンスを提示することにあるが、そのために、先行する理論研究を踏まえて、貿易・投資の自由化が労働、企業組織、賃金、変化に及ぼす影響、個人の属性や地域間の特徴が貿易・投資の自由化に対してどのような作用をもたらすかを明らかにするための理論的フレームワークを構築している。

具体的な実証分析に当たっては、国際貿易が労働需要、雇用、賃金に与える影響を実証的に明らかにするために、経済産業省『企業活動基本調査』の企業データをもとに、生産性を計測するための諸指標の他、輸出、海外生産に加え、企業内部門別雇用の変動、タイプ別労働時間、賃金等をマッチングしたパネルデータベースを構築している。また、賃金変化の地域間格差を分析するために厚生労働省『賃金構造基本統計調査』をもとに地域別パネルデータを構築している。

個人属性・地域属の異質性が貿易・投資・労働移動の自由化の選考にどのような影響をもたらすかを明らかにするために、『個人の貿易政策選好に関するマイクロデータ分析 - RIETI 1万人調査』の個票データをもとに、地域データとの接続を行っている。

また、中国企業に関しては、中国国家统计局『規模以上企業統計』を核として、貿易データ(輸出データのみでなく輸入競争財に関するデータを含む)、賃金、雇用関係データ、特許データの

マッチングを行っている。

研究成果は working paper 等の形でとりまとめ、内外の研究者からのフィードバックを得るとともに、得られた結果については内外の研究者を招聘した学会・ワークショップにおいて報告し、評価を受ける。最終的には、国際学術誌に投稿し、公表する他、図書等の形で出版を行う。

#### 4．研究成果

実証分析によって得られた主な研究成果は、以下のような内容である。

- (1) 国際貿易によって需要の変動幅が大きくなる場合に企業内で発生する雇用調整、労働移動について、日本企業のミクロデータを用いて計量的に実証分析し、企業内の雇用調整コストを小さくするために、雇用調整コストの大きな正規雇用者の雇用調整を少なくし、雇用調整コストの小さい非正規雇用者の雇用調整を行う傾向にあることが見出された。
- (2) 外国人労働者の受け入れに対する賛否について、日本の個人ミクロ・サーベイデータを用いて計量的に実証分析し、業種、職業といった経済学における伝統的要因だけでなく、教育、性別、行動経済学的バイアスも有意に関係していることが見出された。
- (3) 国際貿易が与える地域の貿易自由化・非保護主義化への選好について、貿易政策の保護主義化を測定する個人ミクロ・サーベイデータを用いて実証分析し、輸入変化が大きい地域ほど国政選挙の立候補者の間に保護主義化の傾向が見られることが明らかとなった。
- (4) 地域における産業集積が企業の賃金水準に与える影響について日本企業の賃金データを用いて実証分析し、情報通信産業集約度が企業の賃金水準と有意に相関し、正の外部性をもたらしていることが見出された。
- (5) 地域における労働集積が企業生産性と労働資源配分に与える影響が企業特性によって異なるか否かについて、中国の企業データを用いて実証分析し、中国民間輸出企業と比較して国営企業においては、労働集積が企業生産性と労働資源配分に与える正の影響が弱いことが見出された。
- (6) 企業の賃金水準と R&D ネットワーク・産業集積との関係について、中国の特許データとセンサス(ASIE)を用いて構築したパネルデータを用いて実証分析し、企業の賃金水準に対して地域特化(localization)、都市化(urbanization)が有意に正の相関があり、マーシャルの外部性の存在が有ること、ネットワーク拘束度指数が低い企業(ネットワークにおいて密接には繋がっていない企業間の橋渡しの機能を果たしている企業)の賃金水準が有意に高いこと、地域における産業の多様性は企業の賃金水準に有意な関係を示さず、ジェイコブスの外部性の存在が検出されないこと等が明らかとなった。
- (7) 労働賃金が貿易にもたらす影響について、自由貿易協定における労働条項が貿易創造効果に負に働く一方、貿易転換効果に正に働き、協定締約国の政府の政治バイアスが大きければ両者を相殺して正となり得ることが見出された。
- (8) 自由貿易協定における原産地規則が労働組合の交渉力を高める場合、域外関税の高止まりを招き第3国の貿易に影響をもたらすことが明らかとなった。

これらの結果は、学会・研究集会などで報告されており、一部に working paper の段階のものもあるが、多くは国際(英文)学術誌に掲載されている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計23件（うち査読付論文 14件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 10件）

1. 著者名 Tanaka Ayumu, Ito Banri, Wakasugi Ryuhei	4. 巻 51
2. 論文標題 How do exporters respond to exogenous shocks: Evidence from Japanese firm-level data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 100962 ~ 100962
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2019.100962	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Tomimura Eiichi, Ito Banri, Mukunoki Hiroshi, Wakasugi Ryuhei	4. 巻 50
2. 論文標題 Individual characteristics, behavioral biases, and attitudes toward foreign workers: Evidence from a survey in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 1 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2019.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Hitoshi Sato	4. 巻 780
2. 論文標題 Political Economy of Labor Provisions in Free Trade Agreements	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IDE Technical Report	6. 最初と最後の頁 1-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Hayakawa Kazunobu, Mukunoki Hiroshi, Yang Chih-hai	4. 巻 55
2. 論文標題 Liberalization for services FDI and export quality: Evidence from China	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 101060 ~ 101060
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2019.101060	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishikawa Jota, Morita Hodaka, Mukunoki Hiroshi	4. 巻 172
2. 論文標題 Parallel imports and repair services	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Economic Behavior & Organization	6. 最初と最後の頁 137 ~ 160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jebo.2020.01.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito Banri	4. 巻 157
2. 論文標題 Trade exposure and electoral protectionism: evidence from Japanese politician-level data	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Review of World Economics	6. 最初と最後の頁 181 ~ 205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10290-020-00392-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomiuira Eiichi, Ito Banri, Mukunoki Hiroshi, Wakasugi Ryuhei	4. 巻 58
2. 論文標題 Individual characteristics and the demand for reciprocity in trade liberalization: Evidence from a survey in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 101071 ~ 101071
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2021.101071	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若杉隆平	4. 巻 20-J-03
2. 論文標題 賃金の地域間格差と集積	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 UNP-RC Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24740/00000974	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 若杉隆平	4. 巻 20-J-04
2. 論文標題 地域間賃金格差と情報通信産業	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 UNP-RC Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24740/00000975	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito Banri, Mukunoki Hiroshi, Tomiura Eiichi, Wakasugi Ryuhei	4. 巻 51
2. 論文標題 Trade policy preferences and cross-regional differences: Evidence from individual-level data of Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 99 ~ 109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2018.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wakasugi Ryuhei	4. 巻 18-E-03
2. 論文標題 Harmful Effects of Import Restrictions and Non-Market Measures	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 UNP-RC Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24740/00000893	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhaonang Zhang, Taro Akiyama,	4. 巻 22
2. 論文標題 Inequality, Polarization and Growth	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 横浜国際社会科学研究所	6. 最初と最後の頁 53-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Eiichi Tomiura	4. 巻 20
2. 論文標題 Empirical Analyses of Offshoring based on Japanese Firm-level Data: A Survey	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Economy	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5652/internationaleconomyie2017.02et	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Eiichi Tomiura, Banri Ito, Hiroshi Mukunoki, Ryuhei Wakasugi	4. 巻 17-E -033
2. 論文標題 Individual Characteristics, Behavioral Biases and Attitudes toward Immigration: Evidence from a Survey in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Discussion Paper, Research Institute of Economy, Trade, and Industry	6. 最初と最後の頁 1-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa, K., Laksanapanyakul, H., Mukunoki, H., Urata, S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Impact of Free Trade Agreement Use on Import Prices	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 World Bank Economic Review	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 若杉 隆平	4. 巻 18-J-01
2. 論文標題 輸入制限と非市場的措置の弊害	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 UNP-RC Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryuhei Wakasugi, Lakhwinder Singh, and Sukhpal Singh	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Innovations and Intellectual Property Rights in Asia: An Introduction	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Millennial Asia	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0976399616686859	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ayumu Tanaka, Banri Ito, and Ryuhei Wakasugi	4. 巻 17-E-027
2. 論文標題 How Do Exporters Respond to Exogenous Shocks: Evidence from Japanese Firm-level Data	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper series	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ryuhei Wakasugi and Hongyong Zhang	4. 巻 14(4)
2. 論文標題 Impacts of the WTO Accession on Chinese Exports	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Chinese Economic and Business Studies	6. 最初と最後の頁 347-364
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14765284.2016.1178520	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Eiichi Tomiura, Banri Ito, Hiroshi Mukunoki and Ryuhei Wakasugi	4. 巻 24(5)
2. 論文標題 Individual Characteristics, Behavioral Biases, and Trade Policy Preferences: Evidence from a Survey in Japan	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Review of International Economics	6. 最初と最後の頁 1081-1095
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/roie.12248	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Tomohiro Machikita and Hitoshi Sato	4. 巻 No. 655
2. 論文標題 A Model of Temporary and Permanent Jobs and Trade	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 IDE Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mukunoki, H.	4. 巻 未定
2. 論文標題 The welfare effect of a free trade agreement in the presence of foreign direct investment and rules of origin	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Review of International Economics	6. 最初と最後の頁 未定
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/roie.12282	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mukunoki, H.	4. 巻 未定
2. 論文標題 Market access and technology adoption in the presence of FDI	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Economics	6. 最初と最後の頁 未定
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00712-017-0540-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計28件(うち招待講演 4件/うち国際学会 22件)

1. 発表者名 Hitoshi Sato
2. 発表標題 Political Economy of Labor Provisions in Free Trade Agreements
3. 学会等名 Western Economic Association International 94th Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 棕 寛
2. 発表標題 Production Dynamics in Multi-product Firms
3. 学会等名 The 59th Congress of the European Regional Science Association (ERSA) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 棕 寛
2. 発表標題 Lerner Meets Metzler: Tariff Pass-through of the Worldwide Trade
3. 学会等名 日本国際経済学会第9回春季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤萬里
2. 発表標題 Trade exposure and electoral protectionism: evidence from Japanese politician-level data
3. 学会等名 日本国際経済学会 第8回春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤仁志
2. 発表標題 Dual Labor Markets and Economic Globalization: Theory and Evidence from Japanese Manufacturing
3. 学会等名 Japan Studies Seminar at the W. H. Shorenstein Asia-Pacific Research Center, Stanford University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Taro Akiyama and Baujun Fang
2. 発表標題 R&D Network in China
3. 学会等名 UNP International Workshop: International Trade and Innovation (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Zhaonan Zhang and Taro Akiyama
2. 発表標題 Inequality, Polarization and Innovation
3. 学会等名 2018 International Conference on Applied Finance, Macroeconomic Performance and Economic Growth (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 棕 寛
2. 発表標題 Endogenous External Tariffs of a Free Trade Agreement under Unionized Oligopoly
3. 学会等名 2018産業組織、經濟成長與所得分配學術研討會，台湾・淡江大学 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroshi Mukunoki and Hirofumi Okoshi
2. 発表標題 How Do Rules of Origin Affect Multinational Firm's Strategy? Transfer Pricing and Value Added Criterion ?
3. 学会等名 Annual Conference of the Canadian Economic Association 2018 , カナダ・McGill University (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroshi Mukunoki
2. 発表標題 Endogenous External Tariffs of a Free Trade Agreement under Unionized Oligopoly
3. 学会等名 The 93rd Annual Conference of Western Economic Association International (WEAI), カナダ・Sheraton Vancouver Wall Center (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroshi Mukunoki and Hirofumi Okoshi
2. 発表標題 How Do Rules of Origin Affect Multinational Firm's Strategy? Transfer Pricing and Value Added Criterion ?
3. 学会等名 The 58th Congress of the European Regional Science Association (ERSA), アイルランド・University of Cork (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 秋山 太郎
2. 発表標題 Scenario-based decision theory under uncertainty
3. 学会等名 Yokohama Workshop on Risk and Uncertainty
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤 仁志
2. 発表標題 Globalization and Temporary Jobs
3. 学会等名 The 2018 Royal Economic Society Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Mukunoki, H.
2 . 発表標題 Does Trade Liberalization Promote Antidumping Protection? : A Theoretical Analysis
3 . 学会等名 The 13th Asia Pacific Trade Seminars meeting (APTS 2017) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Mukunoki, H.
2 . 発表標題 Does Trade Liberalization Promote Antidumping Protection? : A Theoretical Analysis
3 . 学会等名 Singapore Economic Review Conference 2017 (SERC 2017) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Mukunoki, H.
2 . 発表標題 Does Trade Liberalization Promote Antidumping Protection? : A Theoretical Analysis
3 . 学会等名 The 44th Annual Conference of the European Association for Research in Industrial Economics (EARIE 2017) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Mukunoki, H.
2 . 発表標題 Endogenous External Tariffs of a Free Trade Agreement under Unionized Oligopoly
3 . 学会等名 8th International Conference on "Economics of Global Interactions: New Perspectives on Trade, Factor Mobility and Development." (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 棕 寛
2. 発表標題 Preferential Trade Agreements, Techonlogy Adoption and the Speed of Attaining Free Trade
3. 学会等名 日本応用経済学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mukunoki, H.
2. 発表標題 Parallel Imports and Repair Services
3. 学会等名 Hitotsubashi Conference on International Trade and FDI 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊藤 萬里
2. 発表標題 Trade Exposure and Electoral Protectionism: Evidence from Japanese Politician-level Data
3. 学会等名 韓国国際経済学会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 秋山太郎
2. 発表標題 R&DネットワークとR&D成果
3. 学会等名 横浜国立大学・中国科学院科技戦略研究院 日本と中国のイノベーション政策シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 富浦英一
2. 発表標題 日本のマイクロデータによる貿易の実証分析について
3. 学会等名 日本国際経済学会小島清賞授賞記念講演（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤仁志
2. 発表標題 Temporary Jobs and Globalization
3. 学会等名 日本国際経済学会春季大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤仁志、田中清泰、鎌田伊佐生、Tran Binh Minh
2. 発表標題 The Internationalization of Firms and Management Practices
3. 学会等名 WTO Public Forum（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤仁志
2. 発表標題 Temporary Jobs and Globalization
3. 学会等名 国立中央大学経済学部セミナー（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mukunoki, H.
2. 発表標題 Parallel Imports and Repair Services
3. 学会等名 The 12th Asia Pacific Trade Seminars meeting (APTS 2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Mukunoki, H.
2. 発表標題 Parallel Imports and Repair Services
3. 学会等名 The 17th Annual Conference of European Trade Study Group (ETSG2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Mukunoki, H.
2. 発表標題 Market Access and Technology Adoption in the Presence of FDI
3. 学会等名 The 12th Australasian Trade Workshop (ATW2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 若杉 隆平	4. 発行年 2020年
2. 出版社 産経新聞出版	5. 総ページ数 254
3. 書名 「新型コロナ後の国際貿易」国際経済連携推進センター編『コロナの先の世界』第1章	



1. 著者名 棕 寛	4. 発行年 2020年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 274
3. 書名 貿易自由化はなぜ必要か	

1. 著者名 若杉 隆平	4. 発行年 2020年
2. 出版社 文真堂	5. 総ページ数 294
3. 書名 基礎から学ぶ国際経済と地域経済	

1. 著者名 Richard Baldwin and Eiichi Tomiura	4. 発行年 2020年
2. 出版社 CEPR Press	5. 総ページ数 115 (59-72)
3. 書名 Economics in the Time of COVID-19: Chapter 5. Thinking ahead about the trade impact of COVID19	

1. 著者名 Eiichi Tomiura	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 251
3. 書名 Cross-border Outsourcing and Boundaries of Japanese Firms: A Microdata Economic Analysis	

1. 著者名 富浦 英一	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 255-267
3. 書名 「貿易の拡大と輸出構造の高度化」深尾京司・中村尚史 編『岩波講座 日本経済の歴史 5 現代1』第5章 第2節	

1. 著者名 木村福成・椋寛（編著）	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 507
3. 書名 国際経済学のフロンティア	

〔産業財産権〕

〔その他〕

新潟県立大学国際産業経済研究センター <a href="https://www.unii.ac.jp/overview/facilities/economy-center/">https://www.unii.ac.jp/overview/facilities/economy-center/</a>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	秋山 太郎  (Akiyama Taro)	新潟県立大学・国際経済学部・教授	
	(40167854)	(23102)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	富浦 英一  (Tomiura Eiichi)  (40273065)	一橋大学・大学院経済学研究科・教授   (12613)	
研究分担者	佐藤 仁志  (Sato Hitoshi)  (60466076)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・開発研究センター・研究センター長   (82512)	
研究分担者	椋 寛  (Mukunoki Hiroshi)  (90365065)	学習院大学・経済学部・教授   (32606)	
研究分担者	伊藤 万里  (Ito Banri)  (40424212)	青山学院大学・経済学部・教授   (32601)	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 International Workshop on International Trade, Innovation and Labor in the Global Economy	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 UNP International Workshop: International Trade and Innovation	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 UNP International Workshop on Contemporary Issues of International Trade	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 UNP International Workshop on Current Issues in International Economics	開催年 2018年～2018年

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
中国	浙江財経大学	北京大学	对外経済貿易大学
タイ	タイ開発調査研究所		